

新しい司法書士像を求めて

ザ・フォーラム

《季刊》2007.10 **No.72**

発行

司法書士・行政書士
丹羽正夫事務所

〒461-0017
名古屋市中東区東外堀町32
番地 鈴木ビル4F
TEL 052-962-9693
FAX 052-962-9633
E-mail info@niwaoffice.com
URL http://www.niwaoffice.com/

登記・法律問題など、
お困りのことがございましたら、お気軽にご
相談ください。



今、国の将来を真剣に考えるとき

司法書士 丹羽正夫

安倍晋三前首相の突然の辞任によって、政治の流れはどのように変化するのだろうか。

小泉純一郎元首相から引き継がれた市場経済中心主義・規制緩和・民営化という改革路線は、参議院議員通常選挙での自民党の大敗という民意を受けて、大きな修正を迫られていたことは明らかであった。棚ぼた式で福田康夫新首相の登場となったが、新政権の政策運営がどのようなものになるか、国民は重大な関心をもって見守っているところである。

小泉劇場といわれた熱い政治の季節が去り、その継続を訴えた安倍前首相の登場から一年、我が国の政治状況は大きな転換点を迎えているように思われる。今冷静になって小泉政治を振り返ってみると、郵政改革で顕著に表われたように、我々は「白か黒か」を問うような、物事を深く考慮しない二分割思考に陥ってしまい、思考停止、知的退行をしてしまったように思われてならない。

少し前までは、市場経済・規制緩和・民営化さえすれば「改革」と思いこみ、国民は諸手をあげて推進の後押しをし、その後にはバラ色の社会があると信じこまされてきたように思われる。そして、橋本龍太郎政権から一〇数年にわたる「改革」という錦旗の下に、

システムの破壊、権威の攻撃を続けてきた。しかし、「改革」という名の下に行われた破壊は、今日日本社会を惨憺たる状況に陥れている。家族は崩れ始め、教育は荒廃し、まじめに働いても将来に希望すらもてない若者が増大している。不祥事の続発にみるように、企業はバブルック・マインドを失い、地方と農業などの第一次産業は衰退の一途をたどり、国土の荒廃が広がっている。今はマクロの景気よさが継続しているため、国民はそれぞれこの恩恵を受けているが、我が国全体が崩壊していく予兆があらゆるところから現出しているように思う。

今こそ日本の進路の方向を真剣に考えないと、将来は大変な事態に陥るよう思えてならない。そのための一つの処方箋は、お金を儲けた人だけが尊敬を集めるような風潮を排し、知性と品格のある社会・国家をつくることではないだろうか。何事もお金の尺度で計るような拝金主義を断ち、人々が知識や教養を高めることの大切さを知り、学問や技能・技術に敬意を払える社会に転換していく必要があるように思う。そのための国家一〇〇年の基盤となるのが教育であり、今がその正念場であるように思われてならない。